

# 特別記事

## Interview

### フランク・ファジョーリ、 ツアーとカウンターテナーについて語る 初来日迫る！ 話題沸騰のカウンターテナー

取材・文 中東生  
Text: Hanobu Nakai

かねてから海外で話題になっていたカウンターテナーのファジョーリが初来日する。そのファジョーリに、ハンブルク州立歌劇場の出演後、話を聞くことができた。

#### フアン直談判でツアーが決まる

ハンブルク州立歌劇場が10年ぶりに再演した《アルチーナ》は、想像通りフランク・ファジョーリが演じた「ルッジェーロ」に題名を変えたいほどであった。その10年前に題名役を歌ったアニヤ・ハルテロスは今ではすっかり大スターだが、今回はホルガー役のユリア・レージネヴァが、大きな可能性を秘めているように感じた。

終演後、祖国アルゼンチンから訪ねて来ていた母上と叔母上と共に、ファジョーリとシャンパンを手に歓談した。

11月に初来日されますが、ファンが招聘元に直談判して決まったという話は本当ですか。

「良い質問です！ 欧州まで聴きにきてくださる多くの方々が『アジアにも歌いに来て』と言ってくたさるたびに、『僕はアジアに行きたいけど、招聘先が興味を抱いてくれるかは、あなた方のお力添え次第です』と言った言葉から、今回のアジア・ツアーが実現したのです」

いつ、どのようにしてカウンターテナーを目指し始めたのですか。

「故郷の街トクマン（北アルゼンチン）の児童合唱団に9歳で入団しましたが、11歳の時、モーツァルト《魔笛》の3人の童子に選ばれたのです。舞台上で、オーケストラや大歌手たちの側で歌うというのは、僕にとって素晴らしい体験となり、ピアノを習い始めました。その後はピアノを目標していましたが、15、16歳の頃には、声変わりしても高音で女声を真似ながら遊ぶように歌っていました。

ある時、ベルゴレージ《スターバト・マリエル》の練習ピアノニストをした際、この街で売っていた唯一のCDを買って帰り、すぐに聴いてみると、アルトの声が少々不思議に聞こえました。ケースを見ると、ソプラノはエマ・カータビ、そしてアルトにはジェイムズ・ボウマンと男性の名前が書いてあるではありませんか！ こうして初めてカウンターテナーという存在を知り、こんなふうに歌いたい、と18歳ころから歌のレッスンを始めました」

#### Franco Fagioli, after "Alcina" by Hamburgische Staatsoper, speaks about "counter tenor" and his asia tour

#### 音域の広さを可能にした イタリア唱法

貴方の音域は、バスのような低音から超高音まで柔軟に網羅してしまえますが、どうやって習得したのですか。

「カウンターテナーは、男性も全員が持っている『頭声』を使って歌うのですが、その使い方は歌唱技術によって多少差があり、イタリア唱法では高音だけでなく、すべての声を使わせます。対してイギリス唱法ではあまり胸声を使いません。僕はイタリア唱法、特にベルカント唱法を習ったので、音域が広いのだと思います」

貴方はカウンターテナーという特殊な枠を超え、男性らしく、人間味があり、シーザーなど皇帝を演じるための気品もあるのですが、アルゼンチン人気質なのでしょうか。

「素敵な褒め言葉をありがとうございます(笑)。ひとえにイタリア・ベルカント



ハンブルク州立歌劇場の楽屋で母(右)や叔母(左)とともに ©中東生



ハンブルク州立歌劇場の《アルチーナ》から。ファジョーリが歌ったルッジェーロは、「タイトルロール」を変えてもいいのではとまで思わせたほどだった ©Hans Jörg Michel

#### 公演情報

フランク・ファジョーリ (C-T) & ヴェニス・バロック・オーケストラ 2018年日本公演  
〈日時・会場・問合せ〉11月18日14時・兵庫県立芸術文化センター・芸術文化センターチケットオフィス0798-68-0255 / 20日19時・福岡シンフォニーホール・アクリス福岡チケットセンター092-725-9112 / 22日19時・東京オペラシティコンサートホール・アレグロミュージック03-5216-7131 / 25日16時・水戸芸術館・水戸芸術館チケット予約センター029-231-8000  
〈曲目〉ヘンデル《激しい嵐に揺さぶられても》～《オレステ》から、同《もしも私のため息が》～《イメネーオ》から、同《愛しい妻よ、愛しい人よ》～《リナルド》から、同《嵐よ、暴風よ、貸したまえ》～《リナルド》から、同《あなたはどこにいるのか、愛しい人よ?》～《ロテリンダ、ロンバルドの王妃》から、同《私は胸にきらめくのを感じる》～《忠実な羊飼い》から、同《朝がよい、不妻な女よ、情人に身を委ねて》～《アリオダンテ》から、同《恐ろしい地獄の残骸な復讐の女神が》～《セルセ》から、他

「素敵な褒め言葉をありがとうございます(笑)。ひとえにイタリア・ベルカント  
お会いしたいと思えます」